

令和7年度高松市立浅野小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

豊かな心をもち、自ら考え楽しく学び合うたくましい児童の育成

【本校の課題】

- 「新体力テストの数値分析の結果」より

男女ともに、多くの学年で上体起こしと反復横跳び、ソフトボール投げの値が低く、県平均を下回っている。

全校生の新体力テストの総合評価 $\{(A+B) - (D+E)\}$ の数値が、男子は2・4年以外、女子は3・6年以外でマイナス値である。

【現状】

200mトラックを引いた上に、その周りに十分なスペースを確保できるほどの大変広い運動場がある。休み時間には、多くの児童が元気よく遊んでいる。また、放課後には希望者による放課後の特別クラブを盛んに行い、体力の向上を図っている。しかし、外に出て遊ばない児童や課外活動に参加しない児童もあり、体力・運動能力の二極化が進んでいます

【取り組み】

運動環境の整備

- ・雨の日には、学年ごとに体育館使用を割りあて、運動できる場所を提供する。
- ・広い運動場や遊具・鉄棒などを活用し、基礎的な体力を高めていく。



基礎的・基本的な知識・技能の定着

各領域の系統表を作り、体育が専門ではない教員でも確実に指導できるようことで、児童の基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指す。

運動機会の確保

- ・「浅野っ子あそびウィーク」という期間を設け、外遊びに行くように声をかけたり、遊具の貸し出しを行ったりすることで、児童が積極的に外遊びに行けるような機会を設けて、体を動かすことの楽しさを体験させる。

・放課後に運動できる機会を提供する。

- * 水泳トレーニング
- * 秋の陸上トレーニング
- * マラソントレーニング

【目標】

- 新体力テストの一人一人の合計点をプラス5点をめざす。
- 普段の授業から子どもたちの運動を保障し、体つくり運動や体ほぐし運動を意図的に取り入れ体力の向上をめざす。
- 授業や放課後のトレーニングを通して、たくましい身体と協力し合うことのできる児童を育成する。
- 「あそびんピック in Kagawa」の全体の数値を昨年度より10%上げる。